

別添1 (介護ロボット用)

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社フレンズハウス)  
 事業所名 (グループホーム フレンズハウス七番町)  
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

適用を受けた補助率		3/4 ・ 1/2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
コミュニケーション		メンタルコミットロボット パロ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和 <del>4</del> <sup>3</sup> 年11月20日	1	令和 <del>4</del> <sup>3</sup> 年11月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中リビングに設置し、入居者が自由に触れ合うことができる。</li> <li>・不穏な状況の入居者に、ロボットと触れ合うことにより落ち着きを取り戻す。</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者が名前を呼びながら触れ合い、笑顔が多くみられるようになった。特に、無口な男性入居者がロボットと触れ合うことで笑顔が出るようになった。</li> <li>・不穏な入居者に対して、ロボットと触れ合うことにより落ち着くことができ、職員の身体的負担の軽減につながっている。</li> <li>・アニマルセラピーと同様の効果がみられ、入居者の笑顔が増え、雰囲気良くなった。</li> </ul>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
81 : 1	69 : 1
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
69 : 1	
②と③が異なる場合はその理由	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
入居者18名中4名に見守りセンサー（眠りSCAN）を設置し、夜間の睡眠状態を遠隔リアルタイムでモニタリングしている。夜10時から朝6時までの間モニタリングを実施し、睡眠状態が安定していることを確認して巡視回数が通常の1/3程に減少した。	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要以上に訪室することがないため、入居者の安眠につなげることができた。</li> <li>・巡視回数が減ったことにより、夜間の業務にゆとりができ、また安定した休憩時間をとることができた。</li> </ul>	
これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること	
安定している入居者に使用することにより、安眠を促すことを目的に使用できているが不安定・不穏な入居者に対して使用することで、異常の早期発見、事故防止につなげることができる。	

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 医療法人 安形医院 )  
 事業所名 ( あがた指定通所リハビリテーション事業所 )  
 サービス種別 ( 通所リハビリテーション )

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り・コミュニケーション	介護ふれあいロボットシステム (HIMBOT)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年2月28日	2セット	令和4年2月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

コミュニケーションロボットを2体導入し、業者より操作説明を受け、設置しました。デイケアを利用している高齢者がロボットと直接いろいろな脳トレを行っています。使い方の説明も、ロボットが話してくれます。ロボットが脳トレ問題を出し、利用者が回答を選択します。その場でロボットが正解を教えてください、さらにロボットが利用者を励ましてくれます。利用者は、楽しみながら頭を使っている様子です。

## 【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

デイケアの利用者が、ロボットとふれあうことで、楽しみながら、頭を使っているように見えます。利用者がロボットを認識し、意識されています。自ら操作し、活動につながっているように見えます。ADLの維持向上、低下防止につながればと思います。

利用者が一人でロボットとふれあうことにより、スタッフの介護時間の軽減に直接つながっています。より多くの利用者がより長い時間を、利用者のみでロボットにふれあってくれると助かります。また、徘徊されていた利用者が、ロボットに集中してくれることで、スタッフにとっての業務負担、精神負担が軽減されました。

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 愛生館)  
 事業所名 (特別養護老人ホームひまわり安城)  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ (1 / 2)		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り・コミュニケーション	コミュニケーションロボット PALRO モデルⅢ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月13日	1	令和3年12月13日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

- ・ 入居各ユニットにて、レクリエーションを目的に使用を開始。
- ・ 多数の入居者の前で介助者がパルロに声をかけ、体操や唄を歌う等で活用している。
- ・ 入居者とパルロとのコミュニケーションツールとして活用している。

## 【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・ 会話が好きな入居者とコミュニケーションをとるなどして、入居者の満足度を得ている。
- ・ 従業員によるレクリエーションの負担が軽減された。歌のレパートリーを増やす、簡易な体操の案内など、間接的な介護時間の負担軽減が見られている。
- ・ レクリエーションに不慣れな従業員のフォローができています。若い従業員が知らない昔の唄を歌うなど、助けになっている。
- ・ 会話の相手になる事で、入居者の不安を軽減している。従業員の直接的介護時間の軽減につながっている。